

のぼりゆく

立田怜奈

デザインコース

ふとしたときに、過去のどうにもならない出来事に思考が引き戻されて囚われる自分がある。

本来はやりたいことやどうなりたいかなど、未来のことに向かって考えたい。

平等院で雲中供養菩薩を見たときに非現実的な世界観に包まれた。

本制作では過去のことを思い詰める自分を解き放ち浄化させてくれるような存在を、煙をモチーフとして、和紙から感じ取れる温かさ、やわらかさ、シャープな折りの陰影を活かし制作した。



立体造形／和紙／h1710×w980×d1490mm

呂色塗乾漆合子「大海をゆく」

前田詩織

デザイン工芸コース



工芸／乾漆、漆、麻布／h132×w160×d360mm

Working desk 「千代」

在宅勤務のためのワークデスク

吉岡実夏

デザイン工芸コース

厳しい人口減少の中、社会は労働力を確保するために働き方の多様性が必要であることを皮肉にも今回のコロナ禍が浮き彫りにした。在宅勤務はその一つの答えである。

在宅勤務は家という一つの空間で仕事と私生活の切り替えを行う必要がある。より早く仕事に集中できるよう、他の家具とは異なる雰囲気や動きによって、双方の干渉をおさえ、これからの仕事と家庭を橋渡すデスクを提案する。



家具/セン/h820×w1130×d700mm

琉球月見草図屏風

若松建吾

デザイン工芸コース

春から夏へと変わる季節に咲きこぼれるこの桃色の花々。そんな花々の間をあたたかくやわらかな風が通り抜けていく。



工芸／研出蒔絵・漆／金・銀・白蝶貝・夜光貝・鉄刀木／h575×w1870×d21mm

エクステンションダイニングテーブル

豊かな時間を家族と過ごすために

栗井咲佳

デザイン工芸コース

家族の捉え方は時代とともに変化している。

これまでは一緒に住む人を家族と捉えていた。しかし近年では一緒に住んでいない親戚や友人などを家族と捉える考えが増え、家族という言葉が定義する範囲が大きくなった。

これまでの家族で豊かな時間を過ごしていたダイニングテーブルでは、近年定義する大きな家族に対応できなくなってしまう。そこで、大きくなった家族にも1つのダイニングテーブルを囲み、豊かな時間を過ごして欲しいと願い、このエクステンションダイニングテーブルを制作した。



家具デザイン／楓・朴／h720×w2520×d900mm